



太平喜代江

人と人がつながり、助け合い、暮らさに安心感が持てるまちづくり

**問** ボランティア組織の形成やボランティアが活動しやすい仕組みづくりについて

**答** 社会福祉協議会とともに活動の支援や人材育成を実施するとともに、食育・介護予防・子育てボランティア等の育成も行い地域での活動を支援している。



**問** 災害時の避難準備情報について

**答** 避難勧告等に関するガイドラインが改正され高齢者等が避難を開始する段階であることを明確にするため、「避難準備情報」の表現が「避難準備・高齢者等避難開始」に変更されたところである。

また、本年4月には、災害や防災情報等に関する理解を深めるため、能勢町、池田市、豊能町の要配慮者利用施設への管理者・事業者説明会を開催する予定である。



**問** 地域担当職員制度について、担当者が地域の課題を共有するよう期待するが、具体的な内容は

**答** 地域担当職員は、地域との総合窓口として地域課題を共有した上で必要な情報の発信や制度の紹介を行うほか、担当する地区から要望や相談があった場合には、関係部署と連携し、その実現に向けたサポートを行うこととしている。

### 一般質問



西河 巧

公園の整備

**問** 子どもたちの遊び場づくり、自然とのふれあいの広場が必要だと考えるが。

**答** 子育て世代が、住みやすいまちを実現していくためには、本町の豊かな自然を生かすことが大切である。公園の整備については、能勢の郷の活用や、自然体験施設との連携をし、自然と触れ合える場の構築に努めていきたい。



- 一、公園の整備
- 二、交流人口増加への取り組み
- 三、自然環境を活用して魅力ある街づくり

交流人口の増加への取り組み

**問** たくさんの方が能勢町に来られることにより、まちの活性化につながっていくと考える。そのためにも能勢の魅力をどんどん発信していく必要がある。今後どのように取り組むのか。

**答** 交流人口の増加に向けて、観光ウェブ通信による情報発信や観光案内所のサテライト施設の整備、さらには観光案内板の更新や観光ボランティア



アガイドの育成など、観光客の受け入れをソフト、ハードの両面から整備することにより、本町の魅力発信に積極的に取り組んでいく。

自然環境を活用して魅力あるまちづくり

**問** 自然環境の活用の取組みについて

**答** 都市近郊にある本町の貴重な自然環境を生かし、レクリエーションや教育の場として、都市との交流や環境保全活動を進めていくことが大切であり、森林資源の活用など、循環型社会の構築に向け、取り組んでいく。